

# 解答・解説

## 凡例および注意点

① = 大問番号    ❶ = 段落番号    ❶ = 文番号

### 解答部

\_\_\_\_\_ = 正解部分  
( ) = 省略可能  
[ ] = 直前の語句との入れ換え可能

### 解説部

☐ = 主語    動 = 動詞    目 = 目的語    副 = 副詞 など  
「 」 = 訳（基本は直訳）、あるいは強調  
( ) = 省略可能、あるいは補足・別表現  
【語句】 = 該当箇所の重要語句  
[ | ] = 発音。左側が発音記号。右側が目安となるカタカナ表記で、ゴシック体はアクセント  
⇒ = 派生語・反意語 など  
☐例 = 例文。暗唱できるようになることを強くお勧めする  
【文法】 = 該当箇所の重要文法事項

### 日本語訳部

文構造にできるだけ忠実に、自然な日本語を心がけた

### 重要語句確認部

☐ = 名詞    動 = 動詞    形 = 形容詞    副 = 副詞 など  
□ = チェック欄  
[ ] = 発音記号  
「 」 = 意味

解答

1

- (1) (エ)
- (2) 雇用者のほうが、オンライン上のさまざまな情報を利用して、適した人材を探せるようになるから。
- (3) (イ)
- (4) 意図的な否かにかかわらず、データ（を集めるツール）にシステム制作者の偏見が混じると、システムが役に立たなくなってしまうこと。
- (5) 私たちが新しい技術の使い方を理解して、自ら自分たちの生活を改善すること。
- (6) (ウ)

解説

凡例： 1 = 段落番号、3 = 文番号

- (1) 本文内容の一部を正しく説明するものを選ぶ選択問題。選択肢は日本語。文構造を適切に見極めれば難しくはない。
- 下線部(1)を含む英文は、**2 2** By 2030, we'll likely be living in a world where artificial assistants help us with almost every task, 「2030年までに、私たちは、おそらく人工的なアシスタントがほぼすべての作業で私たちを助ける世界に住んでいるだろう」 **副** [not unlike the way email tries to finish spelling a word for users today]. 「こんにちは、ユーザーの代わりにeメールが、単語を綴るのを完成しようとする方法と変わらず」の意味で、下線部は方法を表す副詞句。not unlikeは2つの否定が含まれるので、ほぼlike「～のように」と同じ肯定の意味になる。the wayは関係副詞howの先行詞となる名詞で、このときのhowは必ず省略される。つまり、the way以降が名詞節となるが、これは、もとの文、email tries to finish spelling a word for users in the way today. 「eメールはこんにちは、そのような方法でユーザーの代わりに単語を綴ることを完成しようとする。」が変換されたもの。4つの選択肢は一見紛らわしいが、主語や二重の否定を正しく把握すれば難しくないだろう。正解は(エ)。
- (2) 本文内容の一部を説明する記述問題。問題文には「どうしてか説明しなさい」とあるので、理由を述べることになる。自然な日本語で、的を射た簡潔な答えを心がける。
- 下線部(2)を含む文は、**4 2** In the future, the job might come to you. 「将来、仕事があなたにやってくるかもしれない。」の意味。その理由は、次以降の文に書かれている。**4 3** ~ **4 4** Potential employers will draw from different data sources, including online business profiles and social media streams, to find out about a person and their skills. Maguire says there's already

a lot of activity around turning employment into a matchmaking endeavor, using artificial intelligence and deep learning to help the right person and the right job find each other. 「将来の雇用主は、人物とそのスキルを探し出すために、オンラインの職務経歴やソーシャルメディア動向などの異なるデータ源を利用するだろう。人工知能やディープラーニングを使って、ふさわしい人間とふさわしい仕事とが互いを見つけやすくすることで、雇用をマッチングへの努力に変える活動はすでに数多く行われているとマグワイア氏は言う。」の部分をもとめる。情報量が多いので、「理由」を説明する部分を絞り込む必要がある。例えば、具体例はそれを含む一般的な表現にしたり、重要でなければ削除したりするといいたいだろう。要するに、「雇用者が、オンライン上のさまざまな情報を利用して、適した人材を探せるようになるから（仕事のほうからあなたにやってくるかもしれない）」ということ。

(3) 空所補充の選択問題。文脈と、文法・語法・関連語句などの知識を利用して解答する。

空欄（A）を含む文は、**5 1** In theory, this kind of online job matching could lead to (A) bias and discrimination in hiring practices. 「理論的には、この種のオンライン仕事仲介は、雇用慣習における（A）偏見と差別につながる可能性がある。」の意味。文法的には、空所前が前置詞で、後がbias and discriminationの名詞（句）なので、空所は続く名詞（句）を修飾する形容詞が入る。選択肢はすべて形容詞なので、文脈から判断する。this kind of online job matchingは、前段落で述べられた「オンライン上の情報を利用しての雇用仲介」を表す（(2)の解説を参照）。次の文**2**は(4)の問題部分なのだが、逆接のHowever「しかし」はとても重要なので念頭に置いて

おく。その次以降の文、**5 3** “We have to make sure that the people who are building these tools aren't informing these tools with their own biases, whether they're intentional or not,” Maguire says. “These systems will only be as good as the data that feeds them.” 「『これらのツールを制作している人々が、意図的か否かにかかわらず、自分たちの偏見をそのツールに組み込んでいないということを、私たちは確実にしなくてはならない。』とマグワイアは言う。『これらのシステムは、そこに入力されるデータによってしか有効となりえない。』とはつまり、「オンライン仕事仲介のシステムは、そこに入力するデータに依存しており、そのデータを集めるツールに偏見が入ると、システムが役に立たなくなる」ということ。この内容は否定的なので、Howeverを挟んだ前の文は肯定的な内容になるはず。よって、正解は(イ)less (bias and discrimination) 「より少ない（偏見と差別）」。(ア)further「より違い、さらなる」、(ウ)old-fashioned「古めかしい」、(エ)personal「個人的な」は、代入しても肯定的な内容にならないので、どれも不可。

(4) 本文内容の一部を具体的に説明する記述問題。問題文を論理的に読み込み、何を答えるのかを明確にする。自然な日本語で、的を射た簡潔な答えを心がける。

下線部(3)を含む文は、**5 2** However, there are potential pitfalls. 「しかし、潜在的な落とし穴はある。」の意味だが、pitfallが少々難しいかもしれない。ただ、それは問題文の説明「求職者と雇用者をつなぐオンラインシステムを作るときにどのような危険の可能性があるか」が補っている。設問(3)で該当部分を解説してしまったので省略するが、「システムを作るときの、どのような危険」かに焦点を当てて解答すること。

(5) 本文内容の一部を説明する記述問題。問題文を論理的に読み込み、何を答えるのかを明確にする。自然な日本語で、的を射た簡潔な答えを心がける。

下線部(4)を含む文は、**6 2** While she doesn't want to sound melodramatic about emerging technologies, she believes it is critical for the public to get engaged now, rather than sitting back and letting technology happen to them. 「彼女は、新たな技術を大げさに思われたくはない一方で、国民が、座して技術になされるがままになるのではなく、今こそ関与することがとても重要だと信じている。」の意味。この「関与すること」の内容は、続くマグワイア氏の主張の、最後の部分に述べられている。文章の最終文、“I have a deep concern that we're just kind of sitting back and letting technology tell us what jobs we'll have and what jobs we won't have, rather than us figuring out how to apply these technologies to improve our lives.” 「私たちが、これらの技術の使い方を理解して自分たちの生活を改善するのではなく、どのような仕事をし、どのような仕事をしないのかをただ座して技術が私たちに命じるがままにさせていることを、私は憂慮している。」は、**6 2**と同様にA rather than B「BではなくA」の表現。これら2つの文に共通するsitting back and letting technology ~との対比から、下線部はus figuring out以降の内容に対応することがわ

かるので、この部分を説明すればよい。these technologiesは、前の文のthese new technological capabilities「新たな技術力」から、「新たな（科学）技術」などと訳すとよい。また、「座して」との対比として、「自ら」や「主体的に」などの表現を補うとわかりやすくなるだろう。模範解答はto不定詞を〈結果〉を表す副詞的用法として解釈したが、「(自ら)自分たちの生活を改善するために、新しい技術の使い方を理解すること。」などとしてもよい。

(6) 本文内容の要約として正しいものを選ぶ選択問題。枝葉末節に惑わされず、文章全体の要約になっているかに注意を払う。

(ア) Artificial intelligence will do all our work for us. 「人工知能は私たちに代わってすべての仕事をしてくれるようになるだろう。」 × 内容に不一致と判断する。**2 2** By 2030, we'll likely be living in a world where artificial assistants help us with almost every task, ~ 「(訳は(1)の解説を参照)」のalmost every task「ほぼすべての作業」はall our work「私たちのすべての仕事」とは違う。

(イ) We will all look for jobs online. 「私たちはみな、オンラインで仕事を探すようになるだろう。」 × (2)の解説にあるように、「仕事の方からあなたにやってくる」とは「仕事を探す必要がない」ということである。**4 1** forget about (中略) the challenging task of looking for a job on your own. 「自分自身で仕事を探す骨の折れる作業については忘れなさい。」とも書かれている。

(ウ) Our way of working will change significantly in the near future. 「近い将来、私たちの働き方は大きく変わるだろう。」 ○ とくに例を出す必要もないほど、**1** から一貫して、仕事と働き方が大きく変わるだろうことが示されている。文章全体の要約として正しいと判断する。【語句】significantly [signifəkəntli | セグニフィカントリ] **副** 「大きく、重大に」

(エ) We will assist technology in doing our work. 「自分たちの仕事をするとき、私たちは技術を補助するようになるだろう。」 × **2 2** By 2030, we'll likely be living in a world where artificial assistants help us with almost every task, ~ 「(訳は(1)の解説を参照)」に一致しないと判断する。